

2024年度

第2回



機械保全技能検定

受 検 案 内

特 級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級

受 検 申 請 期 間

インターネット申請

2024年8月26日(月)10:00～9月27日(金)18:00

郵 送 申 請

2024年8月26日(月)～9月20日(金)消印有効

公式サイト : <https://www.kikaihozenshi.jp/>

試験実施に関する変更事項や受検者への通知事項がある場合など試験実施に関する最新の情報は、公式サイトに掲載します。
必ず公式サイトで最新の情報をご確認ください。



技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。
技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

INDEX

変更事項	3
------	---

Chapter 1 試験概要

1. 受検手数料（非課税）	3
★実技試験受検手数料判定（公式サイト）	
2. 等級・作業	4
3. 試験日	4
4. 試験方法と合格基準	5
5. 受検資格	6
★受検資格判定（公式サイト）	
6. 試験の免除	10
7. 試験実施地区 特級・1級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	11
8. 試験実施地区 2級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	12
9. 試験実施地区 3級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）	13
10. 試験実施地区 1級・2級・3級 電気系保全作業の実技試験	14

Chapter 2 受検申請手続き

1. 受検申請手続き	15
2. 個人／団体マイページの利用方法	15
3. 個人申請の流れとスケジュール	16
4. 団体申請の流れとスケジュール	17
5. 受検申請上の注意点	18
6. 免除付受検申請と合格証書交付申請	19
★合格通知番号・技能士番号検索（公式サイト）	

Chapter 3 FAQ（よくあるお問合せ）

1. FAQ（よくあるお問合せ）	20
2. お問合せ先	23

変更事項

➤ 減免制度について（2024年4月1日施行の内容）

2024年4月1日より、実技試験における減免制度が改正されました。

・減免制度の適用者

23歳未満の3級実技試験受検者全員を対象

※23歳未満とは、2024年4月1日時点での年齢で判定（2001年4月2日生まれ以降）

※特級・1級・2級の実技試験では、減免制度は適用されません

＜3級実技試験における減免制度の適用条件と受検手数料＞ ※特級・1級・2級は一般料金 23歳未満の方（減免適用者）

23歳未満の学生※1

23歳未満の在職者※2

23歳未満の学生※1でもなく、
在職者※2でもない

① 学割減免
実技 6,200円

② 在職者減免
実技 7,700円

③ 減免
実技 11,600円

23歳以上の方

23歳以上の学生※1

学生ではない

④ 学割
実技 10,000円

⑤ 一般
実技 15,400円

- ※1 学生とは、学校教育法の規定による学校の在籍生、あるいは職業能力開発促進法の規定の施設で所定の職業訓練を受けている方で、受検申請最終日（2024年9月27日（金））時点で在籍している方
例）高等学校・高専・専修学校・大学・大学院・職業能力開発センターなどで所定の職業訓練を受けている方
- ※2 在職者とは、受検申請最終日（2024年9月27日（金））時点で在職している方で、雇用保険被保険者である者（学生やアルバイトは含まれない）
- ※3 インターネット申請の場合は当てはまる受検手数料区分で、郵送申請の場合は記入もれがないよう申請してください。
申請後の変更はできません

➤ 合格発表について

2024年度第2回試験より、等級・作業によって合格発表日が異なります。詳細は16・17ページをご確認ください。

➤ 団体申請の個人支払いについて

団体申請で個人支払いを希望される場合、インターネット申請のみ可能です。払込取扱票での支払いは、取り止めとなりました。

Chapter

1

試験概要

1 受検手数料（非課税）

受検手数料は下表のとおりです。

等級	受検手数料区分	学科試験のみ	実技試験のみ	学科・実技試験両方	適用条件
特級・1級・2級	一般		15,400円	20,000円	
3級	① 学割減免	4,600円	6,200円	10,800円	詳細は上記の 各種適用条件を ご確認ください
	② 在職者減免		7,700円	12,300円	
	③ 減免		11,600円	16,200円	
	④ 学割		10,000円	14,600円	
	⑤ 一般		15,400円	20,000円	

※決済方法により事務手数料（10,000円未満は330円・税込、10,000円以上は440円・税込）または振込手数料（課税対象）が別途必要です

※減免ならびに学割の適用は、出入国管理及び難民認定法 別表第一の上欄の在留資格をもって在留する方は適用されません

2 等級・作業

本試験回では、下記の○が記載されている試験を実施します。

等級	機械系保全作業	電気系保全作業	設備診断作業
特級	○ (作業区分なし)		
1 級	○	○	○
2 級	○	○	○
3 級	○	○	

※それぞれの等級・作業において、学科試験・実技試験を行います

3 試験日

等級	作業	試験区分	試験日(期間)
特級	—	学科試験・実技試験	2025年 1 月12日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
1 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	
	電気系保全作業	学科試験	
	設備診断作業	学科試験・実技試験	
2 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	2024年12月15日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	電気系保全作業	学科試験	
	設備診断作業	学科試験・実技試験	
3 級	機械系保全作業	学科試験・実技試験	2025年 1 月12日(日) 学科試験(午前)・実技試験(午後)
	電気系保全作業	学科試験	

1 級 2 級 3 級	電気系保全作業	実技試験	2024年11月30日(土) ～2025年 2 月23日(日) 期間内の土曜日・日曜日に実施 ※上記以外に欄外の予備日設定あり
-------------------	---------	------	--

※各受検申請者の試験日は事務局にて決定します。試験日は、受検票をご確認ください

※詳細は、14ページをご確認ください

4 試験方法と合格基準

試験は学科試験と実技試験を行います。

学科試験と実技試験の両方に合格することで「技能士」と称することができます。

各設問の配点、受検者個別の解答内容などの採点結果に関わる情報は非公開です。

学科試験

＜合格基準＞ 加点法で100点満点として65点以上の場合、合格

等級	作業	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
特級	—	五肢択一・50問	マークシート方式	120分
1 級	全作業共通	真偽法・25問		100分
2 級		四肢択一・25問		
3 級		真偽法・30問		60分

実技試験

＜合格基準＞ 減点法で41点以上の減点がない場合、合格

等級	作業	実施方法・出題数	解答方法	試験時間
特級	—	計画立案等作業試験・10課題	マークシート方式	150分
1 級	機械系保全作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分
	設備診断作業	判断等試験・10課題	マークシート方式	100分
2 級	機械系保全作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分
	設備診断作業	判断等試験・8課題	マークシート方式	80分
3 級	機械系保全作業	判断等試験・7課題	マークシート方式	70分
	電気系保全作業	制作等作業試験・2課題	作業採点※ (一部マークシート方式)	110分

※解答方法が「作業採点」の試験は、筆記具以外に工具等の持参が必要です。必要な工具は公式サイトをご確認ください

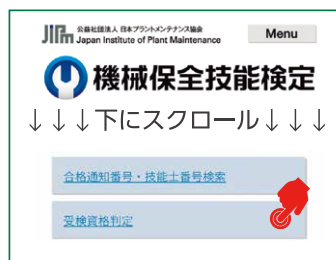
5 受検資格

公式サイト「受検資格判定」(<https://www.kikaihozenshi.jp/>)

〈パソコン画面〉

サイドメニュー（右側）の
「受検資格判定」ボタンをクリック

〈モバイル画面〉

下にスクロールのうえ、
「受検資格判定」をクリック

いくつかの質問を回答いただくことで、
受検資格の有無と、受検資格 No. (1級・2
級) を簡単に調べることができます。

受検申請する際には受検資格No.が必要になりますので、よくご確認ください(特級・3級は除く)。

受検資格は、機械保全に関する業務に就いていた実務経験年数(過去の実務経験も含める)により判定します。実務経験年数が受検資格に満たない場合は、機械保全技能検定の合格歴、学校の卒業歴や職業訓練歴などで実務経験年数が短縮されることがあります。

各受検者の受検資格については、「(3) 各等級の受検資格(短縮要件)」で、受検資格No.をご確認ください。

(1) 実務経験年数

① 受検に必要な実務経験年数

等 級	受検に必要な実務経験年数
特級	1 級合格後 5 年以上
1 級	7 年以上
2 級	2 年以上
3 級	0 年(問わない)

② 機械保全に関する業務(例)

- ・ 機械、設備の保全計画の作成
- ・ 機械、設備に生ずる欠陥の発見
- ・ 機械、設備の異常時の対応
- ・ 機械、設備状況の測定データの収集
- ・ 機械、設備状況の測定データの解析および判定
- ・ 機械、設備の保全方法の決定および処置

※実務経験年数を証する書類の添付は不要です

※機械保全に関する管理監督、訓練、教育、研究に関する業務、入職後の訓練・教育を受けた期間も含まれます

③ 実務経験年数の算出方法

機械保全に関する業務に就いた日から受検申請最終日「2024年9月27日(金)」までです。

「1級合格後」は、1級合格日の翌日から受検申請最終日までを算出してください。

(2) 1級・2級受検資格一覧表の見方ならびに申請時の注意点

①受検資格区分 A から G の中で当てはまる受検資格を申請

※1級・2級の受検資格(8・9ページ参照)に関して、受検資格が複数の項目で該当する場合、**受検資格区分 A** (実務経験年数) を優先して、該当する受検資格を1つ選択してください

②受検資格を満たす学歴について

最終学歴である必要はありません。

最終学歴が文系学部・学科大学卒業であっても、高校卒業の内容が受検資格を満たしていれば受検可能です。

③機械保全職種に関する学科の目安について

工業高校などの場合 ○：機械科、電気科、機械工学科など
 ×：普通科、商業科、土木科、建築科など

大学・短大などの場合 ○：工学部、機械工学科、電気工学科など
 ×：文系学科・学部(文学、経済、経営、法)、医学部など

ご不明な場合は公式サイトのお問合せフォームよりお問合せください。

※お問合せ・ご相談内容欄に学校名・学部名・学科名を正確に入力してください

※お調べしてご回答します。回答までに数日間要する場合があります

※学校卒業は、受検資格に当てはまる学歴をご記入ください(最終学歴の必要はありません)

(3) 各等級の受検資格(短縮要件)

①特級受検資格一覧表

特級の受検資格は、下表の1種類のみで短縮要件はありません。

受検資格区分	受検資格 No.	受検資格の内容	合格後の実務経験年数
技能士合格と実務経験年数	—	1級 機械保全技能検定合格	5年以上

②3級受検資格一覧表

3級の受検資格は、下表の1種類のみで、実務経験年数は0年(問わない)で受検可能です。

受検資格区分	受検資格 No.	受検資格の内容	合格後の実務経験年数
実務経験年数	—	機械保全に関する業務に従事している者、 あるいは従事しようとしている者	0年(問わない)

③1級受検資格一覧表

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請をしてください。

(複数当てはまる場合は、**受検資格区分 A** を優先して、該当する受検資格を1つ選択してください)

受検資格 No.B ～ G の方は「受検資格の内容」を満たしたうえで記載の実務経験年数が必要です。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容 (1級)	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-1	機械保全に関する実務経験7年以上	—
B 技能士合格	B-2	2級 機械保全技能検定合格	2年以上
	B-3	3級 機械保全技能検定合格	4年以上
C 学校卒業	C-4	高校卒業 (機械保全職種に関する学科)	6年以上
	C-5	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・大学入学資格付与課程に限る)	
	C-6	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・授業時間数800時間以上)	
	C-7	短大・高専・高校専攻科卒業 (機械保全職種に関する学科)	5年以上
	C-8	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・大学編入資格付与課程に限る)	
	C-9	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・授業時間数1600時間以上)	
	C-10	大学・大学院卒業 (機械保全職種に関する学科)	4年以上
	C-11	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・大学院入学資格付与課程に限る)	
	C-12	専修学校卒業 (機械保全職種に関する学科・授業時間数3200時間以上)	
D 普通 職業訓練修了	D-13	短期課程【機械保全科】修了 (授業時間数700時間以上)	6年以上
	D-14	普通課程 機械系【機械加工科】修了 (授業時間数2800時間未満)	5年以上
	D-15	普通課程 機械系【精密加工科】修了 (授業時間数2800時間未満)	
	D-16	普通課程 機械系【機械技術科】修了 (授業時間数2800時間未満)	
	D-17	普通課程 電気電子系【製造設備科】修了 (授業時間数2800時間未満)	
	D-18	普通課程 電気電子系【電気機器科】修了 (授業時間数2800時間未満)	
	D-19	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了 (授業時間数2800時間未満)	4年以上
	D-20	普通課程 機械系【機械加工科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
	D-21	普通課程 機械系【精密加工科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
	D-22	普通課程 機械系【機械技術科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
	D-23	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
	D-24	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
	D-25	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了 (授業時間数2800時間以上)	
E 高度 職業訓練修了	E-26	専門課程 (特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	3年以上 2級合格の場合：1年以上 3級合格の場合：2年以上
	E-27	専門課程 (特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-28	専門課程 (特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-29	専門課程 (特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-30	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	1年以上
	E-31	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
	E-32	応用課程 (特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-33	長期課程【精密機械システム工学科】修了	1年以上
	F-34	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-35	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-36	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-37	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-38	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-39	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-40	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-41	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-42	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	0年 (問わない)
	F-43	指導員免許【機械科】取得	
	F-44	長期養成課程【機械指導科】修了	
	F-45	長期養成課程【電気指導科】修了	
G 個別認定の 職業訓練修了等	G-46	公式サイトの「当協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格 (短縮要件)」で確認してください。	—

④2級受検資格一覧表

下表の中から該当する受検資格を確認し、受検申請をしてください。

(複数当てはまる場合は、**受検資格区分 A** を優先して、該当する受検資格を 1 つ選択してください)

受検資格 No.B ～ G の方は「受検資格の内容」を満たしていれば、実務経験は問いません。

受検資格区分	受検資格No.	受検資格の内容(2級)	合格・卒業・修了後の 実務経験年数
A 実務経験年数	A-51	機械保全に関する実務経験2年以上	—
B 技能士合格	B-52	3級機械保全技能検定合格	0年(問わない)
C 学校卒業	C-53	高校卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-54	短大卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-55	高専卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-56	専修学校卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-57	高校専攻科卒業(機械保全職種に関する学科)	
	C-58	大学・大学院卒業(機械保全職種に関する学科)	
D 普通 職業訓練修了	D-59	短期課程【機械保全科】修了	
	D-60	普通課程 機械系【機械加工科】修了	
	D-61	普通課程 機械系【精密加工科】修了	
	D-62	普通課程 機械系【機械技術科】修了	
	D-63	普通課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	D-64	普通課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	D-65	普通課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
E 高度 職業訓練修了	E-66	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【生産技術科】修了	
	E-67	専門課程(特定専門課程) 機械システム系【メカトロニクス技術科】修了	
	E-68	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気技術科】修了	
	E-69	専門課程(特定専門課程) 電気・電子システム系【電気エネルギー制御科】修了	
	E-70	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産機械システム技術科】修了	
	E-71	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電子システム技術科】修了	
	E-72	応用課程(特定応用課程) 生産システム技術系【生産電気システム技術科】修了	
F 指導員 訓練修了等	F-73	長期課程【精密機械システム工学科】修了	
	F-74	長期課程【機械制御システム工学科】修了	
	F-75	長期課程【電気システム工学科】修了	
	F-76	長期課程【機械システム工学科】修了	
	F-77	短期養成課程 機械系【機械加工科】修了	
	F-78	短期養成課程 機械系【精密加工科】修了	
	F-79	短期養成課程 機械系【機械技術科】修了	
	F-80	短期養成課程 電気・電子系【製造設備科】修了	
	F-81	短期養成課程 電気・電子系【電気機器科】修了	
	F-82	短期養成課程 メカトロニクス系【メカトロニクス科】修了	
	F-83	指導員免許【機械科】取得	
	F-84	長期養成課程【機械指導科】修了	
	F-85	長期養成課程【電気指導科】修了	
G 個別認定の 職業訓練修了等	G-86	公式サイトの「協会が個別に認定した機械保全技能検定における職業訓練による受検資格(短縮要件)」で確認してください。	

6 試験の免除

機械保全技能検定における試験の免除は下記のとおりです。公式サイトにて「等級別」でも、確認できます。

▶ <https://www.kikaihozenshi.jp/points/>

(1) 技能検定合格または一部合格による試験の免除

対 象		技能検定試験の免除の範囲				備 考
		特級	1 級	2 級	3 級	
特級	実技試験のみ合格	実技試験免除	—	—	—	特級の实技試験または学科試験に合格した日から5年間(最終年は年度終わりまで)有効
	学科試験のみ合格	学科試験免除	—	—	—	
1 級	技能士合格	—	—	学科試験免除		—
	実技試験のみ合格	—	—	実技試験免除		同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	—	学科試験免除		同一作業に限る
2 級	技能士合格	—	—	学科試験免除		—
	実技試験のみ合格	—	—	実技試験免除		同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	—	学科試験免除		同一作業に限る
3 級	技能士合格	—	—	—	学科試験免除	—
	実技試験のみ合格	—	—	—	実技試験免除	同一作業に限る
	学科試験のみ合格	—	—	—	学科試験免除	同一作業に限る

(2) 職業訓練による試験の免除

職業訓練の種類	訓練課程	訓練期間	訓練系等	専攻科等	学科試験免除	備 考
普通職業訓練	短期課程	短期	(1級または2級) 技能士コース	機械保全科	○	修了時試験合格が必要
高度職業訓練	専門課程 (特定専門課程)	長期 (2年)	機械システム系	生産技術科	○	1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験4年以上
			電気・電子システム系	電気エネルギー制御科	○	2 級: 技能照査合格
	応用課程 (特定応用課程)	長期 (2年)	生産システム技術系	生産電気システム技術科	○	特級: 技能照査合格 + 合格後実務経験5年以上 1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験2年以上 2 級: 技能照査合格
職業訓練指導員免許	—	—	—	機械科	○	特級は除く

※訓練中の場合は、資格を満たしません

※免除となる等級は、訓練系等欄ならびに備考欄に記載の等級以下を含みます

(3) 当協会が個別に認定した職業訓練による試験の免除

施設の名称	訓練課程	訓練科	総訓練時間の区分	学科試験免除	修了者の適用の範囲
群馬県立前橋産業技術専門学校	普通課程	CAD 技術科(機械製図科)	2800時間以上	○	平成27年3月修了者以降 2 級: 技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
東京都立多摩職業能力開発センター	普通課程	計測機器製造科 (機械組立技術科)	2800時間未満	○	平成24年3月修了者以降 2 級: 技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
三重県立津高等技術学校	普通課程	メカトロニクス系 メカトロニクス科 (機械制御システム科)	2800時間以上	○	平成19年4月修了者以降 2 級: 技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
埼玉県立中央高等技術専門学校	普通課程	機械制御システム科 (機械系機械技術科)	2800時間以上	○	平成22年3月修了者以降 2 級: 技能照査合格 ※ 1 級は免除になりません
広島県立技術短期大学校	専門課程	制御技術科	2800時間以上	○	平成21年4月修了者～令和6年2月修了者 1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験4年以上 2 級: 技能照査合格
広島県立技術短期大学校	専門課程	制御システム技術科	2800時間以上	○	令和6年3月修了者以降 1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験4年以上 2 級: 技能照査合格
職業能力開発総合大学校	専門課程	機械システム系 制御技術科	—	○	平成6年3月修了者～平成24年3月修了者 1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験4年以上 2 級: 技能照査合格
東海職業能力開発大学校	専門課程	機械システム系 産業機械科	—	○	平成6年3月修了者～平成14年3月修了者 1 級: 技能照査合格 + 合格後実務経験4年以上 2 級: 技能照査合格

(4) 技能検定委員歴による試験の免除

対象者	技能検定試験の免除の範囲				備 考
	特級	1 級	2 級	3 級	
技能検定委員として通算2年以上実技試験を担当した方 ※都道府県、指定試験機関のいずれも可	—	実技の全部			同一作業に限る
技能検定委員として通算2年以上試験問題作成を担当した方 ※中央技能検定委員、指定試験機関のいずれも可	—	学科および実技の全部			

7 試験実施地区 特級・1級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2025年1月12日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選びご記入ください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受検する場合、同じ受検地区をご記入ください

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※1級電気系保全作業の実技試験は、14ページをご確認ください

受検地区	特級	1級			受検地区	特級	1級		
	学科 / 実技	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技		学科 / 実技	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技
札幌	○	○	○	○	大津	○	○	○	○
青森	—	○	○	—	京都	—	○	○	—
一関	—	○	○	—	大阪	○	○	○	○
仙台	○	○	○	○	神戸	○	○	○	○
秋田	—	○	○	—	姫路	—	○	○	—
山形	—	○	○	—	奈良	○	○	○	○
郡山	—	○	○	—	和歌山	—	○	○	—
水戸	○	○	○	○	鳥取	—	○	○	—
宇都宮	○	○	○	○	松江	—	○	○	—
前橋	○	○	○	○	岡山	○	○	○	○
太田	—	○	○	—	広島	○	○	○	○
さいたま	○	○	○	○	福山	—	○	○	—
千葉	○	○	○	○	山口	○	○	○	○
23区	○	○	○	○	周南	—	○	○	—
横浜	○	○	○	○	徳島	—	○	○	—
相模原	—	○	○	—	高松	○	○	○	○
新潟	○	○	○	○	松山	—	○	○	—
富山	○	○	○	○	福岡	○	○	○	○
金沢	—	○	○	—	北九州	—	○	○	—
福井	○	○	○	○	佐賀	—	○	○	—
甲府	—	○	○	—	長崎	—	○	○	—
松本	○	○	○	○	熊本	○	○	○	○
岐阜	○	○	○	○	大分	—	○	○	—
静岡	—	○	○	—	宮崎	—	○	○	—
浜松	○	○	○	○	鹿児島	—	○	○	—
名古屋	○	○	○	○	那覇	○	○	○	○
岡崎	—	○	○	—					
豊橋	—	○	○	—					
津	○	○	○	○					

8 試験実施地区 2級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2024年12月15日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選びご記入ください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受検する場合、同じ受検地区をご記入ください

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※2級電気系保全作業の実技試験は、14ページをご確認ください

受検地区	2級			受検地区	2級		
	機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技		機械系 学科 / 実技	電気系 学科	設備診断 学科 / 実技
札幌	○	○	○	豊橋	○	○	—
青森	○	○	—	津	○	○	○
八戸	○	○	—	大津	○	○	—
北上	○	○	—	京都	○	○	—
仙台	○	○	○	大阪	○	○	○
秋田	○	○	—	神戸	○	○	○
山形	○	○	—	姫路	○	○	—
郡山	○	○	○	奈良	○	○	—
水戸	○	○	—	和歌山	○	○	—
つくば	○	○	—	鳥取	○	○	○
宇都宮	○	○	—	松江	○	○	—
前橋	○	○	—	岡山	○	○	○
太田	○	○	—	広島	○	○	○
さいたま	○	○	—	福山	○	○	—
千葉	○	○	—	山口	○	○	○
23区	○	○	○	周南	○	○	—
横浜	○	○	○	徳島	○	○	—
相模原	○	○	—	高松	○	○	○
新潟	○	○	○	松山	○	○	—
富山	○	○	○	高知	○	○	—
金沢	○	○	—	福岡	○	○	○
福井	○	○	○	北九州	○	○	—
甲府	○	○	—	佐賀	○	○	—
長野	○	○	—	長崎	○	○	—
松本	○	○	○	熊本	○	○	—
岐阜	○	○	○	大分	○	○	—
静岡	○	○	—	宮崎	○	○	—
浜松	○	○	○	鹿児島	○	○	—
名古屋	○	○	○	那覇	○	○	○
岡崎	○	○	—				

9 試験実施地区 3級 学科試験・実技試験（電気系保全作業の実技試験は除く）

試験日：2025年1月12日（日）

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選びご記入ください

※学科試験・実技試験（電気系保全作業を除く）を両方受検する場合、同じ受検地区をご記入ください

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合（想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています）

※3級電気系保全作業の実技試験は、14ページをご確認ください

受検地区	3級		受検地区	3級	
	機械系 学科 / 実技	電気系 学科		機械系 学科 / 実技	電気系 学科
札幌	○	○	大津	○	○
青森	○	○	京都	○	○
八戸	○	○	大阪	○	○
盛岡	○	○	神戸	○	○
一関	○	○	奈良	○	○
仙台	○	○	和歌山	○	○
秋田	○	○	鳥取	○	○
山形	○	○	松江	○	○
酒田	○	○	江津	○	○
郡山	○	○	岡山	○	○
白河	○	○	広島	○	○
水戸	○	○	福山	○	○
宇都宮	○	○	山口	○	○
前橋	○	○	周南	○	○
さいたま	○	○	徳島	○	○
千葉	○	○	高松	○	○
23区	○	○	松山	○	○
横浜	○	○	高知	○	○
新潟	○	○	福岡	○	○
長岡	○	○	北九州	○	○
富山	○	○	久留米	○	○
金沢	○	○	佐賀	○	○
福井	○	○	長崎	○	○
甲府	○	○	熊本	○	○
長野	○	○	大分	○	○
松本	○	○	宮崎	○	○
岐阜	○	○	都城	○	○
静岡	○	○	鹿児島	○	○
浜松	○	○	那覇	○	○
名古屋	○	○	沖縄	○	○
津	○	○			

10 試験実施地区 1級・2級・3級 電気系保全作業の実技試験

試験日：2024年11月30日(土)～2025年2月23日(日)の土曜日・日曜日に実施

2025年2月22日・23日は予備日(名古屋を除く)

受検申請書の希望受検地区欄に希望する受検地区を下表より選びご記入ください

※受検地区は選択できますが、試験会場・試験日については選択(指定)できません

※下記の場合は、希望された受検地区の周辺地区への変更をお願いする場合があります

- ・受検地区別に、想定以上の受検申請者の増加があった場合、もしくは受検申請者数が想定人数に満たない場合
(想定人数は、昨年度実施の受検者数をもとに一定割合の増加分を加味しています)

※想定以上の受検申請者の増加があった場合、下記に記載がない日程・受検地区でも試験を実施する場合があります

【1級】受検地区

試験日程	受検地区
11月30日(土)～12月1日(日)	北上、秋田、山形、郡山、23区、横浜、新潟、福井、甲府、岐阜、静岡、名古屋、京都、大阪、徳島、高松、大分、鹿児島
12月7日(土)～8日(日)	札幌、宇都宮、さいたま、富山、浜松、名古屋、大津、大阪、姫路、広島、山口、北九州、宮崎
12月14日(土)～15日(日)	仙台、水戸、前橋、千葉、横浜、金沢、松本、静岡、浜松、津、神戸、岡山、広島、松山、北九州、熊本
12月21日(土)～22日(日)	青森、鳥取、那覇
2月22日(土)～23日(日)	名古屋

【2級】受検地区

試験日程	受検地区
12月7日(土)～8日(日)	横浜、静岡、名古屋、奈良、松江、高松、鹿児島
12月21日(土)～22日(日)	札幌、青森、水戸、前橋、さいたま、23区、横浜、富山、松本、静岡、浜松、大阪、鳥取、福山、松山、那覇
1月11日(土)～12日(日)	北上、秋田、前橋、千葉、横浜、金沢、岐阜、静岡、浜松、大津、京都、神戸、広島、山口、北九州、大分
1月18日(土)～19日(日)	帯広、仙台、郡山、宇都宮、さいたま、横浜、富山、松本、岐阜、浜松、名古屋、津、大阪、姫路、広島、山口、徳島、佐賀
1月25日(土)～26日(日)	秋田、水戸、宇都宮、前橋、千葉、新潟、松本、静岡、浜松、名古屋、津、大津、大阪、姫路、岡山、熊本
2月1日(土)～2日(日)	仙台、山形、宇都宮、さいたま、23区、横浜、福井、岐阜、静岡、名古屋、大津、大阪、姫路、岡山、佐賀、宮崎
2月8日(土)～9日(日)	金沢、甲府、名古屋、津、神戸、岡山、北九州
2月15日(土)～16日(日)	名古屋
2月22日(土)～23日(日)	さいたま、横浜、静岡、浜松、名古屋、大阪

【3級】受検地区

試験日程	受検地区
2月8日(土)～9日(日)	青森、盛岡、郡山、前橋、千葉、横浜、富山、岐阜、浜松、大阪、広島、宮崎、沖縄
2月15日(土)～16日(日)	札幌、仙台、秋田、酒田、水戸、宇都宮、23区、横浜、新潟、福井、松本、名古屋、津、大阪、松江、岡山、山口、高松、福岡、那覇

1 受検申請手続き

受検申請の手続き方法は、下記の2種類から選択できます。

- ・インターネット申請 (推奨)
- ・郵送申請

※団体申請の場合は、団体責任者が団体情報登録時に申請方法を決定しますので、団体に所属する個人受検者は、それに準拠して申請してください

受検申請は、インターネット申請がおススメです

◇パソコン・スマートフォン・タブレットで受検申請可能！ 約5分で申請完了！

(郵送申請は、申請書のダウンロード・A3サイズでの印刷が必要です)

◇受検票・試験結果到着前にマイページで確認可能！

◇受検申請期間は、郵送申請よりも長めに設定！

2024年8月26日(月) 10:00～2024年9月27日(金) 18:00まで

(個人申請で郵送申請の場合は、マイページをご利用できません)

※申請方法の詳細は、

公式サイト内「インターネット申請マニュアル」をご確認ください

※郵送申請の詳細は、公式サイト内「郵送申請マニュアル」をご確認ください

2024年8月26日(月)～9月20日(金) 消印有効

2 個人／団体マイページの利用方法

個人マイページ・団体マイページとは

個人情報・団体情報の登録後に作成されるマイページは、下記の機能が使える便利なWEBサイトです。

- ・受検申請情報の照会
- ・受検票到着前に、受検票の内容(試験日・試験会場)が確認可能
- ・請求書のダウンロード(団体のみ) → **請求書の発送はしませんのでご注意ください**
- ・受検者リストのダウンロード(団体のみ)
- ・試験結果通知到着前に、試験結果の内容(合否・点数)が確認可能
- ・過去の受検履歴も確認可能(同じマイページを使用して申請)

また、マイページは、一度登録すると繰り返しご利用いただけるため、申請都度の個人情報・団体情報の登録の手間を省くことが可能です。是非、ご利用ください。

※郵送申請の場合、個人マイページは利用できません

※上記機能のご利用には、個人情報・団体情報の登録後に発行されるIDとパスワードでログインしてください(ID・パスワードをお忘れの場合は、リマインダー機能をご利用ください。ご不明な場合は、受検サポートセンターへご連絡ください)

※マイページを繰り返しご利用いただく際は、登録されている情報が最新の情報になっているかを受検申請前に必ずご確認ください

個人マイページ(個人情報登録)・団体マイページ(団体情報登録) 期間

2024年8月23日(金) 10:00～2024年9月27日(金) 17:00

※登録方法の詳細は、公式サイト内「インターネット申請マニュアル」をご確認ください

3 個人申請の流れとスケジュール

① 受検案内・申請マニュアル確認

※申請マニュアルはQRコードよりご確認ください



8月1日(木)～

② 受検申請

※受検申請方法を選択(郵送申請は、申請期間が短いので要注意!!)

②-1. インターネット申請

②-1-1. 個人情報登録
(個人マイページ登録)

8月23日(金) 10:00 ～9月27日(金) 17:00

②-1-2. 受検申請登録

8月26日(月) 10:00 ～9月27日(金) 18:00

②-1-3. 受検手数料支払い 8月26日(月) ～9月27日(金)

②-2. 郵送申請

②-2-1. 受検申請書作成・送付

8月26日(月)～9月20日(金) 消印有効

②-2-2. 払込取扱票受け取り 11月8日(金)発送

②-2-3. 受検手数料支払い ～11月29日(金)

③ 《電気系保全作業実技のみ》試験問題(概要)の事前公開

※機械系保全作業は「出題例」として常時公開

11月1日(金)

④ 受検票発送

※学科試験・実技試験それぞれの受検票を発送

11月8日(金)

⑤ 試験

受検票に記載の日程

⑥ 正解の公表(公式サイト)

※電気系保全作業実技試験は、正解の公表はありません

2級
特級・1級・3級

12月20日(金) 10:00～

1月17日(金) 10:00～

⑦ 合格発表
(公式サイト・マイページ)

2級(電気系保全作業実技試験除く)

1月31日(金) 10:00～

特級・1級・3級(電気系保全作業実技試験除く)

2月25日(火) 10:00～

1級・2級・3級(電気系保全作業実技試験)

3月21日(金) 10:00～

⑧ 結果通知発送

3月21日(金)

⑨ 合格証書発送

4月21日(月)

4 団体申請の流れとスケジュール

★：団体責任者対応 ●：申請者対応

①★●受検案内・申請マニュアル確認

※申請マニュアルはQRコードよりご確認ください



8月1日(木)～

②★団体情報登録(団体マイページ登録・団体申請コード取得/周知) 8月23日(金) 10:00～9月27日(金) 17:00

③受検申請

※団体責任者が選択した方法(郵送申請は、申請期間が短いので要注意!!)

※団体申請で個人支払いを希望される場合、インターネット申請のみ可能(払込取扱票での支払いは取り止め)

③-1. インターネット申請

③-1-1. ●個人情報登録(個人マイページ登録) 8月23日(金) 10:00～9月27日(金) 17:00

③-1-2. ●受検申請登録 8月26日(月) 10:00～9月27日(金) 18:00

③-1-3. 受検手数料支払い ※団体責任者が選択した方法

③-1-3a. 個人支払い

●コンビニ・銀行ATM
・クレジット決済
8月26日(月)～9月27日(金)

③-1-3b. 団体一括支払い

★請求書ダウンロード 11月1日(金)
★指定口座に振込 ～11月29日(金)
※請求書の送付なし

③-2. 郵送申請

③-2-1. ●受検申請書作成

③-2-2. ★申請書とりまとめ・送付
8月26日(月)～9月20日(金) 消印有効

③-2-3. 団体一括支払い

★請求書ダウンロード 11月1日(金)
★指定口座に振込 ～11月29日(金)
※請求書の送付なし

④●《電気系保全作業実技のみ》試験問題(概要)の事前公開

※機械系保全作業は「出題例」として常時公開

11月1日(金)

⑤受検票発送

※学科試験・実技試験それぞれの受検票を発送
※団体責任者が選択した方法で発送

●個人宛

11月8日(金)

★団体責任者宛

11月15日(金)

⑥●試験

受検票に記載の日程

⑦●正解の公表(公式サイト)

※電気系保全作業実技試験は、正解の公表はありません

2級
特級・1級・3級12月20日(金) 10:00～
1月17日(金) 10:00～⑧★●合格発表
(公式サイト・マイページ)2級(電気系保全作業実技試験除く)
特級・1級・3級(電気系保全作業実技試験除く)
1級・2級・3級(電気系保全作業実技試験)1月31日(金) 10:00～
2月25日(火) 10:00～
3月21日(金) 10:00～

⑨結果通知発送

※団体責任者が選択した方法で発送

●個人宛

3月21日(金)

★団体責任者宛

3月28日(金)

⑩★●合格証書発送

※団体責任者が選択した方法で発送

4月21日(月)

5 受検申請上の注意点

下記の注意事項をよく読んでから申請してください。

(1) 個人情報の取り扱いについて

受検申請手続きで登録・申請いただく情報は、機械保全技能検定試験を実施するために必要なものに限っており、機械保全技能検定試験の実施運営および試験に関する情報提供のみに利用します。

(2) 個人申請と団体申請について

受検申請は、原則として受検者本人が申請してください。ただし、学校や企業などの団体で受検者を取りまとめる場合は、団体責任者による代理申請も可能です。その際は、**必ず受検者本人の同意(確認)を得てください**。代理申請による受検申請内容に不備があり受検できなかった場合や、不便・費用の不利益が発生しても当会は責任を負いかねます。

(3) 受検申請書への記入について

受検申請書への記入は、黒インキ(ボールペン・万年筆など)を用いて、楷書と算用数字で丁寧に記入のうえ、記入もれや誤りがないか必ずご確認ください。

※鉛筆またはシャープペンシルでの記入は不可

記入する文字は、略字・俗字などを使用せず、また、学校名・会社名などに俗称や略称などを使用しないでください。

誤記の場合は、該当部分を二重線で消して押印訂正、もしくは新しい申請書に初めから書き直してください。

※修正テープや修正液を使用しての訂正は不可

(4) 本人確認書類の提出について

本人確認書類(運転免許証、保険証等の写し等)の貼付またはアップロードが必要となります。本人確認書類の提出がない場合、氏名・生年月日が不鮮明なコピーなどの場合は、受検申請を受理できません。

提出方法は申請方法により異なりますので、申請ごとにご確認ください。

＜本人確認書類として認められる証明書類の例＞

①生徒手帳、学生証(氏名・生年月日が記載されていること)

②健康保険被保険者証

③運転免許証

④マイナンバーカード(表面のみをご提出ください。裏面をご提出いただいた場合は、受検申請を受理できません)

※上記の証明書類でも氏名・生年月日が確認できないものや、有効期限切れは認められません

※学生の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)

※①～④以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

(5) 本人確認書類と受検申請情報の不一致について

本人確認書類と受検申請情報において、氏名、生年月日が不一致の場合、本人確認書類を正式な情報として取り扱います。

特に氏名に外字がある場合(例：斉藤の「斉、斎、齋」、山崎の「崎、崎、寄」、高橋の「高、高」、渡辺の「辺、部、邊、邊」など)は本人確認書類の記載どおりにご記入ください。

(6) 本人確認書類の不備について

本人確認書類の不備により、ご案内する期日までに提出がない場合は、受検申請を受理できません。

(7) 希望受検地区について

希望受検地区は、受検申請時に選択できますが、**試験会場・日程は選択(指定)できません**。決定された試験会場・日程は、受検票またはマイページからご確認ください。

(8) 受検申請時の受検資格について(1級・2級のみ)

受検申請する際には、受検資格 No.が必要です。該当する受検資格 No.を、受検資格一覧表から1つ選択してください。複数の項目で該当する場合でも、1つの選択で結構です。

※公式サイト「受検資格判定」で確認できます

(特級・3級は不要)

(9) 免除付受検申請について

試験の免除(10 ページ)に該当する方で、平成 27 年度以降に技能士合格または一部合格、職業訓練短期課程機械保全コースを修了(合格)した方は免除付受検申請を行ってください。試験で一部合格すると、合格証書が交付されます。詳細は、次ページをご確認ください。

(10) 受検手数料について

支払期限までに受検手数料のお支払いがない場合、受検申請は無効です。

職業能力開発促進法施行令の規定により、**受検申請受理後は、受検をしなかった場合であっても受検手数料の返還はしません**。次回以降の受検手数料に充当することもできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は返還することがあります。

決済方法により、振込手数料や事務手数料(10,000円未満は330円・税込、10,000円以上は440円・税込)が別途かかります。申請者をご負担ください。

(11) 受検申請内容の変更などについて

受検申請後は、申請内容の変更はできません。ただし、住所、改姓、連絡先などの受検者個人の属性に関する事項に限り変更可能です。該当事象が発生した場合、速やかに公式サイトの個人情報変更専用フォームより、変更内容をご入力ください。なお、住所に変更があった際は、受検票や試験結果通知など通知物が届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどをご利用ください。

(12) 障がいのある方、介助が必要な方について

障がいのある方で受検時に一定の配慮が必要な方や、試験当日に介助者などの同伴が必要な場合は、受検申請後の下記期間に受検サポートセンターにご連絡ください。

※9月30日(月)～10月4日(金)

上記期間外や送付状、その他申請時の添付書類に記載頂いても受理できませんので、予めご了承ください

6 免除付受検申請と合格証書交付申請

(1) 免除付受検申請

次の①～③いずれかの条件にあてはまる方は、受検申請時に免除付で受検申請をしてください。

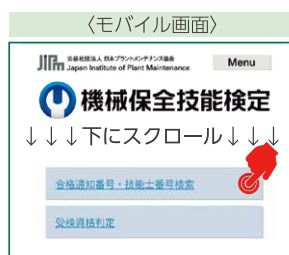
【申請可能な条件・申請方法】

- ①平成27年度以降の試験で技能士合格または一部合格(学科試験もしくは実技試験の片方を合格)した方
→受検申請時の免除付受検申請欄に、技能士番号または合格通知番号を記入
- ②平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方
→受検申請時の免除付受検申請欄に、技能士番号を記入
- ③JTEX で2017年度以降に職業訓練短期課程(機械保全コース)を修了(合格)した方(3級は除く)
→受検申請時の免除付受検申請欄に、JTEX の受講番号(先頭がゼロの場合は省略しないこと)を記入

※免除付受検申請をしていただくと、今回受検の試験結果(合格)と同時に、技能士合格となります。別途のお手続き(合格証書交付申請)が不要となりますので、是非ご利用ください

※試験の免除資格の書き間違い、もしくは免除資格を取得した当時の受検申請情報(氏名、フリガナ)に変更がある場合はご利用できません

公式サイトで合格通知番号・技能士番号検索ができます(平成27年度以降の試験のみ)



各画面の「合格通知番号・技能士番号検索」をクリック

機械保全技能検定公式サイト「合格通知番号・技能士番号検索」



各項目に入力いただき、「次へ」ボタンをクリックしてください。

(2) 合格証書交付申請

今回の試験で一部合格もしくは受検申請時に免除付受検申請ができなかった方で、下記項目にあてはまる方は合格証書交付申請を行ってください。

- ①学科試験または実技試験の免除資格(試験合格以外)を有している方
- ②平成26年度以前に学科試験または実技試験に一部合格した方
- ③平成26年度以前に技能士合格した方
- ④平成27年度以降に合格証書交付申請で技能士合格した方

合格証書交付申請の詳細は公式サイトでご確認ください。

▶ https://www.kikaihozenshi.jp/passing/passing_detail/

※合格証書交付申請の場合、申請から技能士認定(合格証書交付)まで約3ヵ月間を要します

1 FAQ (よくあるお問合せ)

➤ 2024年度の3級試験2回開催について

Q. 同じ年度内に、第1回試験・第2回試験の両方で3級を受検できますか？

- A. 受検可能です。ただし、下記についてご注意ください。
- ・受検申請期間は、第1回試験・第2回試験ごとに決まっています。両方の試験でご受検を希望する場合は、それぞれの申請期間内で受検申請が必要です
 - ・第1回試験受検申請後に、受検者の都合により第2回試験への繰り越しはできません
 - ・第2回試験受検申請後に、第1回試験の結果により、第2回試験の受検申請の変更・キャンセルすることはできません。必ず、第1回試験の結果を確認のうえ申請ください

➤ 受検申請について

Q. 試験会場・試験日は選択できますか？

- A. 受検地区については受検申請時に選択できますが、試験会場・日程については選択（指定）できません。受検票にてご確認ください。

Q. 受検申請書に顔写真は必要ですか？

- A. 受検申請書に写真を貼付する必要はありません。後日、郵送される受検票に写真を貼って試験当日持参してください。

Q. 受検手数料は課税対象ですか？

- A. 非課税です。ただし、事務手数料や振込手数料は、課税対象です。

Q. キャンセル(返金)はできますか？

- A. 受検申請を行い、受理された受検申請で支払われた受検手数料は理由のいかんに関わらずキャンセル(返金)できません。また、次回以降の試験への充当もできません。

Q. 請求書の振込口座が前回と異なるのですが？

- A. 試験回ごとに振込口座が団体ごとに割り振られる仕組みのため、毎回振込口座が変更になります。指定の口座にお振込みください。

Q. 本人確認書類はどのような書類が該当しますか？

- A. 〈本人確認書類として認められる証明書類の例〉
- ①運転免許証
 - ②健康保険証
 - ③学生証(氏名、生年月日が記載されていること)
 - ④マイナンバーカード(表面のみをご提出ください。裏面をご提出いただいた場合は、受検申請を受理できません)
- ※上記の証明書類でも氏名および生年月日が確認できないものは、認められません
- ※いずれも有効期限内のものに限ります
- ※学生の方の場合、所属する学校の責任者(教諭・校長)の署名により、本人確認書類貼付の代替とすることができます(受検申請書の貼付欄内に署名捺印ください)
- ※①～④以外の証明書類の場合は、受検サポートセンターまでお問合せください

Q. 郵送申請の受検申請書が届いているか受領の確認はできますか？

- A. 受検サポートセンターでは個別の受け取り確認はいたしません。簡易書留で送付いただき、配送確認は日本郵便・郵便追跡サービスをご利用ください。

➤ 受検資格について(1級・2級のみ)

Q. 受検資格(No.)が複数該当する場合は、どのように受検申請書に記入すればいいですか？

- A. 受検資格が複数該当する場合でも、記入は1つです。受検資格区分 A を優先して記入してください。
※受検資格区分 A に該当しない場合は、B 以降を記入してください

➤ 免除付き受検申請と一部合格について

Q. 過去に学科試験または実技試験に合格しているのですが、いつまで有効ですか？

- A. 1級・2級・3級は、永続的に有効です。特級については、合格した日から5年間有効です。

Q. 過去に学科試験または実技試験に合格しているのですが、免除付の受検申請はできますか？

- A. ①平成27年度以降(当会実施)に技能士合格または一部合格を取得の方
→免除付受検申請が可能です。受検申請書に技能士番号または合格通知番号を、正確にご記入ください。
※技能士番号または合格通知番号が不明の方は、公式サイトの「合格通知番号・技能士番号検索」で番号を検索できます
- ②平成26年度以前(都道府県協会実施)に技能士合格または一部合格を取得の方
→免除付受検申請はできません。合格後に合格証書交付申請をしてください。

➤ 受検票について

Q. 発送はいつですか？

- A. 発送スケジュールは16.17ページをご確認ください。

Q. 受検票に記載されている項目は何ですか？

- A. 22ページの受検票サンプル画像をご確認ください。
※サンプルですので、内容が変更される場合があります

Q. 受検票が届かない場合は、どうすればいいですか？

- A. 発送日から1週間経過してもお手元に届かない場合は、受検サポートセンターにご連絡ください。

Q. 受検票を紛失してしまった場合は、どうすればいいですか？

- A. 試験当日は以下の2点を必ずご持参ください。
①本人確認ができる以下の**写真付き**身分証明書
(現物のみ、写真で撮影したものは不可)

写真付き身分証明書一覧 (有効期限内のものに限る)	
・運転免許証	・マイナンバーカード
・パスポート	・特別永住者証明書
・社員証	・在留カード
・学生証	

※写真付き身分証明書がない場合は、以下の一覧から**2点**をご持参ください。

身分証明書 (写真なし) 一覧 (有効期限内のものに限る)	
・健康保険証	・社員証
・住民票 (交付日より3ヵ月以内)	・マイナンバー通知カード
・学生証	・戸籍謄本 (交付日より3ヵ月以内)

②受検票に貼付する顔写真

縦4 cm×横3cm・正面・脱帽・6ヵ月以内に撮影された写真で裏面に氏名・受検番号をご記入ください。
※学科試験と実技試験を両方受検する場合、受検票はそれぞれ発行されますので、顔写真もそれぞれご用意ください。
本人確認書類で身分の証明ができない場合、受検できません。

Q. 受検票に顔写真は必要ですか？

- A. 受検票の指定箇所に顔写真(※)を貼付してください。
※縦4cm×横3cm・正面・脱帽・6ヵ月以内に撮影された写真の裏面に氏名・受検番号をご記入ください
※学科試験と実技試験を両方受検する場合、受検票はそれぞれ発行されますので、顔写真もそれぞれ貼付してください

Q. 試験会場・日程は変更できますか？

- A. 受検票に記載の試験会場・日程は変更できません。

➤ **受検申請後の申請内容の変更について**

Q. 受検申請後に、受検作業・等級・受検手数料区分・受検地区の変更はできますか？

- A. 受検申請後の申請内容の変更はできません。郵送申請の場合は、記入もれがないか必ずご確認ください。

Q. 受検申請後に引越したのですが、手続きは必要ですか？

- A. 公式サイト上の個人情報変更専用フォームより、変更内容をご入力ください。また、受検票や試験結果通知などが届かない場合がありますので、必ず郵便局の転居・転送サービスなどを利用してください。郵便局の台帳に登録されていないと配達されないことがあります。詳細は、郵便局にお問合せください。

Q. 受検申請後に氏名が変わったのですが、手続きは必要ですか？

- A. 公式サイト上の個人情報変更専用フォームより、変更内容をご入力ください。また、氏名が変わったことがわかる書類(戸籍抄本か戸籍謄本)の画像データを専用フォーム内に添付してください。

➤ **試験当日の持ち物・スケジュール・来場について**

Q. 試験当日は、何を持参すればいいですか？

- A. 試験当日に必要な持ち物は次のとおりです。作業により必要な持ち物が異なりますので、ご確認ください。なお、必要な持ち物を忘れた場合、試験会場でお貸しすることはできません。(詳細は、受検票にてご確認ください)
①受検票 (写真(縦4cm×横3cm)を必ず貼付)
②筆記用具 (HBかBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)
③指定された設備・工具など (電気系保全作業実技試験のみ)
※設備・工具の詳細は、公式サイトをご確認ください
④腕時計 (会場によっては時計がない、見にくい場合あり)
※置時計、通信機能や音が出る時計は使用不可
※携帯電話、スマートフォンを時計代わりに使用できません
⑤電卓 (特級実技試験、設備診断作業実技試験のみ)
※四則演算などの標準機能の電卓に限ります
※使用可能な電卓の詳細は公式サイトをご確認ください

Q. 集合時間は何時ですか？

- A. 集合時間は以下のとおりです。送付する受検票、またWEB申請の場合はマイページから確認が可能です。

等級	作業	区分	集合時間
全等級	機械系/電気系	学科	11:00
3級	機械系	実技	13:15
3級以外	機械系	実技	14:15

※電気系保全作業実技試験については、受検票でご確認ください

Q. 試験終了時間は何時ですか？

- A. 試験終了時間(目安)は以下のとおりです。

等級	作業	区分	集合時間から試験終了まで
特級	—	学科	おおよそ140分 (試験時間:120分)
		実技	おおよそ170分 (試験時間:150分)
1級	機械系/電気系/設備診断	学科	おおよそ120分 (試験時間:100分)
	機械系	実技	おおよそ120分 (試験時間:80分)
	設備診断	実技	おおよそ140分 (試験時間:100分)
2級	機械系/電気系/設備診断	学科	おおよそ120分 (試験時間:100分)
	機械系/設備診断	実技	おおよそ120分 (試験時間:80分)
3級	機械系/電気系	学科	おおよそ80分 (試験時間:60分)
	機械系	実技	おおよそ90分 (試験時間:70分)
全等級	電気系	実技	おおよそ150分 (試験時間:110分)

Q. 会場に駐車場の確保はありますか？

- A. 機械保全技能検定試験専用で駐車場は確保しておりません。試験会場の場所・アクセス・所要時間などは事前に確認し、試験当日は公共交通機関をご利用のうえ、時間に余裕をもってご来場ください。

➤ **新型コロナウイルス対策について**

Q. 新型コロナウイルスへの対策は必要ですか？

- A. 「新型コロナウイルス等の感染症拡大防止対策について(ガイドライン)」は、廃止します。なお、マスクの着用等については、個人でご判断ください。

➤ 試験の欠席について

Q. 体調が悪い（新型コロナウイルス、インフルエンザ等含む）、冠婚葬祭、所用などで試験を欠席しますが、連絡は必要ですか？

A. 欠席のご連絡は不要です。試験日の変更や受検手数料の返金はいりません。また、次回以降の試験への充当もできません。ただし、天災・その他受検者の責に帰することのできない事由により受検できなかった場合は返還することがあります。

➤ 試験対策本(テキスト)や試験対策講座について

Q. 機械保全技能検定についての勉強方法やテキスト、講座について知りたいのですが？

A. 当会はテキストの発行や、対策講座を実施しておりません。インターネットなどで検索してください。なお、過去問題を掲載している書籍等に関しては、公式サイトにて公開(※)しております。

※書籍等の内容に関しては、機械保全技能検定事務局が保証するものではありませんのでご注意ください

➤ 試験結果について

Q. 自己採点では合格だったのに、試験結果通知書やマイページでは不合格でした。各設問の配点を知りたいのですが？

A. 各設問の配点、受検者個別の解答内容など、採点結果については非公開ですので、お問合わせいただいてもお答えできません。

<受検票サンプル>

202●年度第●回		●級機械系保全作業 受検票 (学科)	
控え用	提出用	学科	
受検番号	9999999	受検番号	9999999
試験日	202●/●●/●●	フリガナ氏名	キカイ タロウ 機械 太郎
集合時間	00:00集合 ※試験室の開場は、集合時間15分前	生年月日	2018/01/01
会場名	●●●●	試験日	202●/●●/●●
会場住所(地図)	〒000-0000 ●●●●●● 会場地図は、機械保全技能検定公式サイトをご確認ください	等級・作業	●級機械系保全作業
アクセス・特記事項	●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●	会場名	●●●●

② OPEN<①・②からゆっくりと開けてください>OPEN ①

機械保全技能検定公式サイト <<https://www.kikaihozenshi.jp/>>

2 お問合せ先

機械保全技能検定受検サポートセンター

お問合せフォーム (24時間受付中)

機械保全技能検定 公式サイト (<https://www.kikaihozenshi.jp/>)

〈パソコン画面〉



〈モバイル画面〉



お問い合わせありがとうございます。
お問い合わせの内容に応じたお問合せフォームに移動します。

電話

TEL : 03-5209-0553 (平日10:00~17:00受付)

※公益社団法人日本プラントメンテナンス協会は、機械保全技能検定業務の一部を株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズに委託しています

機械保全技能検定とは

🔍 機械保全技能検定とは

機械保全とは、工場の設備機械の故障や劣化を予防し、正常な運転を維持するために重要な技能であり、製造現場に欠くことのできない能力です。

この技能を評価する唯一の国家検定が、「機械保全技能検定」です。技能検定全職種の中で2番目に多い受検者数で、ものづくり分野の職種の中では1番多く受検いただいています。

🔍 機械保全技能検定 取得のメリット

【機械保全技能士取得者】



「機械保全技能士」
を名乗れる



基本的な技能を
確認(学習)できる



生産/保全業務の
レベルアップ



第三者による
公平な評価

【受検企業・団体】



製造現場の
現場力の向上



社員のやる気・学習
意欲向上



生産・保全部門の
信頼性向上



客観的評価による
企業競争力の強化

🔍 機械保全技能検定 受検者数推移

2014～2023年の
10年平均利用者数

年間 **33,690名**

技能検定全職種(131職種)

: **第2位**

ものづくり分野の技能検定

: **第1位**

🔍 学生向けサイトをリニューアル！

学生向けサイトを公開しております。内容を随時更新していますのでご確認ください！



詳細はこちらから
ご確認ください。



厚生労働大臣指定試験機関
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance